

3年次生を対象に交通安全講話およびシートベルトコンビンサ一体験を実施しました

12月2日(火)3・4限に、日本自動車連盟(JAF)茨城支部より講師の方をお招きし、3年次生を対象に「交通安全講話」および「シートベルトコンビンサ一体験」を実施しました。

交通安全講話では、交通事故に潜むリスクや損害保険の役割について分かりやすくご説明いただきました。生徒からは「万が一の事故で必要となる賠償額に驚いた。卒業後に車を運転する予定なので、自分事として気を付けたい」などの感想が聞かれました。

また、シートベルトコンビンサ一体験では、時速 5km で衝突した際の衝撃を実際に体験しました。生徒からは「わずか 5km でもこれほどの衝撃があるなら、実際の運転中の事故はとても恐ろしい」「シートベルトを着けていないと、低速でも身体が吹き飛ばされることがよく分かった」といった声が寄せられました。

今回の学びを通して、交通安全への意識を高め、責任ある社会人としての行動につなげてほしいと思います。

